

※ポスター画像データをご用意しております

パルコが年間シーズン広告キャンペーンに、 「M/M (Paris)」「(エムエムパリス)」を起用。

フォトグラファーは、Viviane Sassen(ヴィヴィアン・サッセン)、モデルは、Lily McMenamy(リリー・マクメナミー)。

株式会社パルコ(本社:東京都渋谷区、以下パルコ)は、秋からの年間シーズン広告キャンペーンに、フランスのデザインチーム「M/M (Paris)」「(エムエムパリス)」を起用いたしました。フォトグラファーは、Viviane Sassen(ヴィヴィアン・サッセン)・モデルは、Lily McMenamy(リリー・マクメナミー)。

2014年7月に、オランダの海岸線で撮影された本広告は、「Lily, from Solstice to Solstice」と題し、Lilyとフェイスオブジェ、ゴールデンヘッドが美しく絡み合いながら、一年間という時間の継続性を表し、四季の移り変わりを追うというコンセプトで、ファッションの永続性を表現しています。パルコは、この広告を通して、もう一度、四季の素晴らしさと、四季を感じることの大切さ、ファッションの素晴らしさを感じてほしいと思っています。

2014年AWは、8/18(月)から全国パルコ館内外にて掲出開始。2015年SSは、2015年1月中旬から掲出予定です。

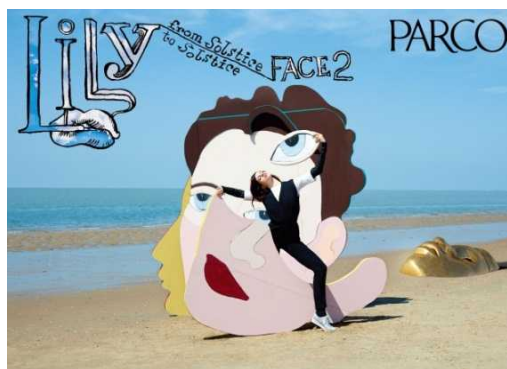
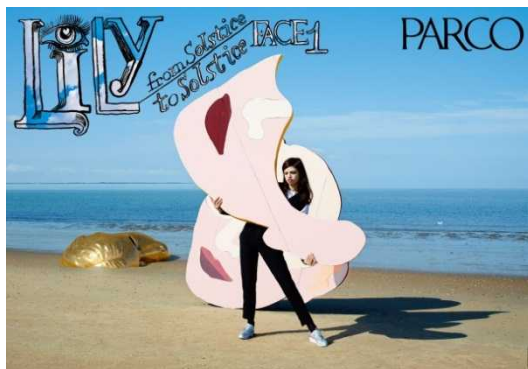
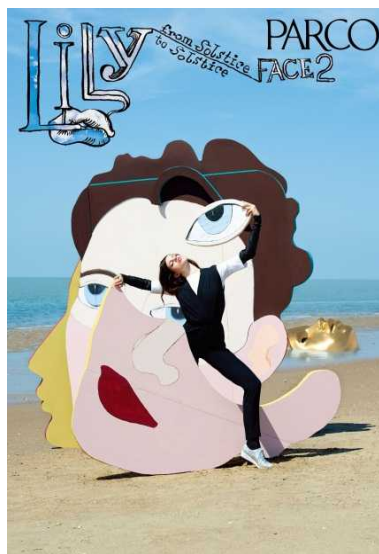
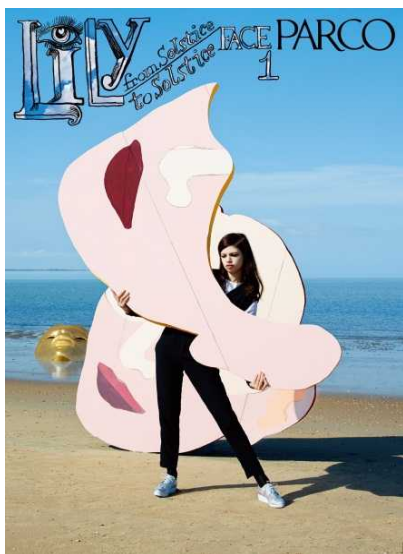
「PARCO 2014 AW」キャンペーンサイト:<http://parco.jp/style/>

★ポスター・CM映像・M/M(Paris)コメント等がご覧いただけます。

制作物の概要

【ポスター】

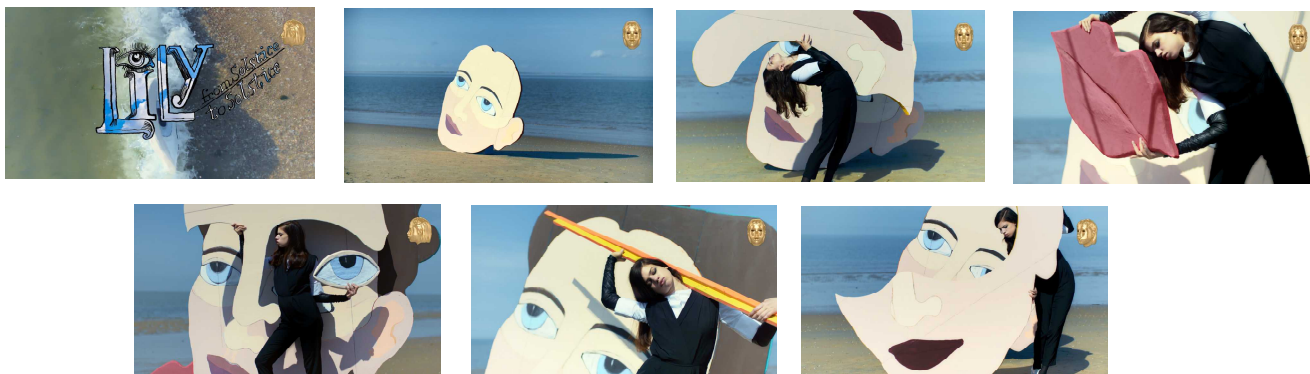
B1 縦、B3 横 各2種 2014/8/18(月)～



* 今回のAWと連作になる2015年SSバージョンは、2015年1月中旬公開予定。

【CF】

15秒、30秒、60秒 ★TVでのON AIRは未定

◇WEBでご覧頂けます：http://parco.jp/style/cm_poster/

* 今回のAWと連作になる2015年SSバージョンは、2015年1月中旬公開予定。

【コンセプト】

力強い個性と存在感を放つ女性、リリー。
彼女が戯れる、女性の純粋な美しさを表したフェイスオブジェ。
そして、古典的な美の象徴としてのゴールデンヘッド。

リリーを中心に混ざり合う、この風変わりな世界は
四季を通して4つの顔、4 FACESに変化しながら
力強さ、華やかさ、美しさ、そして新しさを描いていく。

見たことのない景色を探して、
太陽のように輝き続けるゴールデンヘッドと
どこまでも進化し続けるリリー。

Lily, from Solstice to Solstice.

さあ、あの先の、向こう側へ。

【制作スタッフ】

クリエイティブディレクター：Mathias Aygustyniak、Michael Amzalang (M/M Paris)

フォトグラファー：Viviane Sassen

キャスト：Lily McMenamy

映像ディレクター：Rogier van der Zwaag

スタイリスト：Maarten Spruyt

ヘア：Daan Kneppers

メイクアップ：Kathinka Gernant

セットデザイナー：Frank Visser

企画制作：Yukari Ohyama、Akira Takamiya (RCKT/Rocket Company*) / PARCO

【M/M(Paris)からのコメント】

PARCOの広告、それは私たち二人がアートスクールの学生だった頃から常に、憧れとも言える芸術作品でした。私たちのキャリアにおいてもまた、あの数々の心に残る広告表現に大きな影響を受けたと言えるでしょう。PARCOのポスターを見ていなかったら、グラフィックデザインのスタジオではなく、レコード店を開いていたかもしれせん。

この春、私たちは、日本では伝説的な存在ともいえるPARCOの広告キャンペーンのオファーを受けました。そして私たちは、4種のシリーズポスターで一年間という時間の継続性を表し、また、四季の移り変わりを追うというコンセプトで、ファッションの永続性を視覚的なインパクトをもって表現しようと考えました。

一年を通して見せる生命の完全なサイクル。これより美しいものがあるでしょうか？ 雄大な自然が見せる魂の旅の美しさに優るものがあるでしょうか？

ごくシンプルなこのアイデアから、私たちは今回のインスピレーションを得ました。一年が巡る間に、一人の少女が大人の女性へと開花していく。このアイデアを視覚的に表現するため、私たちは印象的かつ現代的な美女である、モデルのリリー・マクメナミーをキャスティングしました。

また、オランダ人女性フォトグラファーのヴィヴィアン・サッセンに、このクリエイティブな冒険の記録者として撮影を依頼しました。彼女はとても強い個性を持ち、ファッションフォトグラファーとして活躍する一方で、アフリカ各地を訪れ、訪れた先の人々との偶然の出会いをユニークに結び付けた作品を巧みに作り上げています。2014年7月、夏の太陽の光の下、一日の間に刻々と変化するリリーの自然な美しさ、その様子をカメラにおさめられるのはヴィヴィアンしかいないと、私たちは考えたのです。

そして、この表現を完璧なものにするべく、拡大したリリーのフェイスオブジェの作成をセットデザイナーに依頼しました。これを彼女自身の純真な美の象徴と考えたのです。これにより、リリーの存在は繊細かつセンセーショナルなものとなり、彼女が無限に広がる海岸で一日の間に、秋・冬・春・夏の四つの顔を表現するための大きな手助けとなりました。

加えて、私たちは今回のタイトルである“Lily, from Solstice to Solstice” をオリジナルの書体で描きました。また、彼女の古典的な美しさを強調するために、3Dソフトウェアにて、彼女の輝く個性を金色で追加し表現しました。

こうした要素の全てを4種類のポスターと2本の映像で見ることができます。この鮮烈なイメージに、多くの人が心奪われることを願っています。

PARCOのイメージはこれまで、私たちの人生の歴史の一部でした。しかし今、ほんの小さな存在にすぎないとしても、私たちのビジョンがPARCOの偉大な歴史の一部となることを心から望んでいます。

最後に、今の私たちの夢をお話ししましょう。太陽が巡る中でひとりの女性はその姿を変えていくというアイデアが大いに成功を収めること、そして毎年違った人物によってそれが永遠に再現され続け、いつしかそれがPARCO独自のファッションの表現方法になっていくこと。それが私たちの夢です。

- M/M (Paris)、2014年8月

【プロフィール】

M/M (Paris)／エムエムパリス：



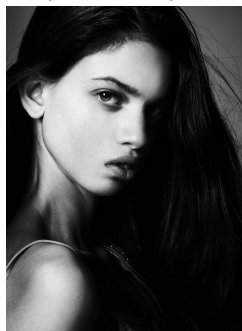
ミカエル アムザラグとマティアス オグスティニアクによって1992年に結成された、パリを拠点に活動するクリエイティブユニット。20年以上にわたりファッション、アート、音楽、デザインと多分野において活躍し、象徴的かつ影響力の強いデザイン&アートで世界中の人々を魅了させている。彼らの手掛ける多くの作品でオリジナルのタイポグラフィを用いられることがあり、表現方法の一つとしてタイポグラフィの重要性の高さが窺え、2003、2004、2012年度の東京TDC賞（タイポディレクターズクラブ）も受賞。また、ファッション、音楽関係の仕事が顕著で、これまでのコラボレーションワークとして、A. P. C.、Balenciaga、Calvin Klein、Dior Homme、Givenchy、Jil Sander、Loewe、Louis Vuitton、Missoni、Sonia Rykiel、Stella McCartney、Yohji Yamamoto、Yves Saint Laurentなどのビックメゾンやデザイナーが連なる。音楽の分野でも、2013年にグラミー賞の最優秀レコーディング・パッケージ賞を受賞したビョークの『Biophilia』を代表に、ヴァネッサ・パラディ、カニエ・ウェスト、マドンナといった著名アーティストのアルバムアートワークやミュージックビデオを手掛ける他、『Vogue Paris』、『Purple Fashion Magazine』、『Arena Homme+』、『Interview Magazine』などの雑誌のアートディレクションも手掛ける。また、2012年には、活動20周年記念として500ページを越える作品集を出版した。

Viviane Sassen／ヴィヴィアン・サッセン



1972年、アムステルダム生まれ東アフリカ育ち。2002年に帰郷するまでアフリカで写真を撮り続けた後、現在はアムステルダムを拠点に活動。ユトレヒト芸術大学、アーネム王立芸術アカデミーにて写真とファッションデザインを学んだ後、ファッションフォトグラファーとして『i-D』、『Dazed & Confused』などの雑誌から、Miu Miu、Louis Vuitton、Carvenなどの広告キャンペーンの撮影で活躍する。2008年にアムステルダムのFoamにて個展を開催した後も多数の展覧会を行い、2012年にアムステルダムで開催した初の回顧展では高い評価を得た。また、毎年行われるニューヨーク現代美術館の写真展覧のうち、2011年の会期では、世界中から選ばれる6人のアーティストのうちの1人に選定された。2007年に「Prix de Rome」、2011年には「ICP・インフィニティ・アワード」のファッションフォトグラフィー部門を受賞。2007年『Flamboyant』(Contrasto)、2011年『Parasomnia』(Prestel)、2012年『Die Son Sien Alles』(Libraryman)、2013年『Etan&Me』(Odee)、2014年『Pikin Slee』(Prestel)、『UMBRA』(Odee)を刊行。

Lily McMenemy／リリー・マクメナミー



1994年、ロンドン出身パリ育ち。トップモデルとして知られるクリスティン・マクメナミーの娘であるリリーは、ファッションやアートに恵まれた環境で幼少期を過ごし、2013年のエディ・スリマンとの出会いによりSaint Laurent 2013S/Sコレクションにてキャットウォークデビューを飾る。同年、Marc Jacobsのランウェイ、キャンペーンモデルの起用が話題に。その後も『LOVE』、『i-D』、『Purple Fashion Magazine』などの雑誌でカバーを飾るほか、A. P. C.、UNITED COLORS OF BENETTONなどのキャンペーンモデルも務める。80年代に山本耀司と川久保玲がパリ・ファッションウィークで起こしたファッション革命に感銘を受け、高校時代に論文を書き上げたという彼女は、親交が深い世界的な写真家のヨーガン・テラー、マート&マーカス、オリビエ・ザームとも共同制作を行うほか、現在も『i-D』WEB版にて「Under the Sheets」という自主企画でファッションアイコンであるクロエ・セヴィニーやナターシャ・リオンへのインタビューを行うなど活躍は多岐に渡る。